

クレマチス園MAP

系統別に列番号をつけて展示しています

見頃の目安

時期	開花植物の数
4月下旬~5月上旬	1, 3, 9, 11, 12
5月中旬	2, 4, 7, 8
5月下旬~6月上旬	3, 5, 6

※天候により、開花時期が変動する場合があります。

112 バデンス(Pat)系

日本に自生するカザグルマの特徴を受け継いだ、大輪で早咲き(5月上中旬)、1季咲きの系統。

3 アトラゲネ(Attr)系

自生地はヨーロッパアルプスやシベリアなどの冷涼な地域で小輪早咲き(4月～5月上旬)。日本のミヤマハンショウヅルに近縁。

シロバナハンショウウヅ

ペリー提督率いる黒船が来航した際、伊豆の下田で採取した株をもとに命名された。日本固有。早咲き(4月～5月前半)。

2 八重咲き品種他

パテンス系、ラヌギノーサ系、フロリダ系など。

インテグリアフォリア (Int) 系

原種は東欧から西アジアに分布。運送き(5月中旬～6月)の強健種。ロックガーデンに

3 テクセンシス(Tex) 彙

テクセンシシスの日本名は、紅花半鐘蔓。
テキサス州～メキシコ原産。運送(5月中旬
～6月)、寒さに弱い。チューリップ型の花を
多数つける品種もある。

⑤ ウイティケラ (Vit) 系

地中海沿岸から中近東に分布するウィティケラ(ビチセラ)から作出された系統。

⑨ モンターナ (Mon) 系

原種はヒマラヤ～中国西部の山中に分布。多花性で早咲き(4月～5月上旬)1季咲き。フェンスや壁に這わすと見事。夏の暑さに弱

カザグルマ (*Clematis patens*)

花は大輪。古く1600年代から観賞用に育成され、多数の品種の交配親として貢献。本州、四国、九州、朝鮮半島、中国に分布するが自生地が少なく国内では準絶滅危惧種(NI)として登録されている。自生地に よって花色や花びら(がく片)の形に変化 が現れる。早咲き(5月前半)。

7 8 ラギナーサー(Lan)系他、黒客品種

花は大輪でパテンス系に似る。花期が長く(5月中旬～6月)、多数の園芸品種がある。

6 ジャックマニール(Jac)系

英国のジャックマン氏が、ラヌグノーサとウィティケラ系を交配して作出した、「ジャックマニ」をもとにした系統。運送(5月中旬～6月)。管理が容易なため庭植えに適す。

④ クサギタン系野生鳥類他

木立性のクレマチスで、花期は8月～9月。日本や中国などに8種が知られる。ボタンヅル節との雑種も知られる。

